

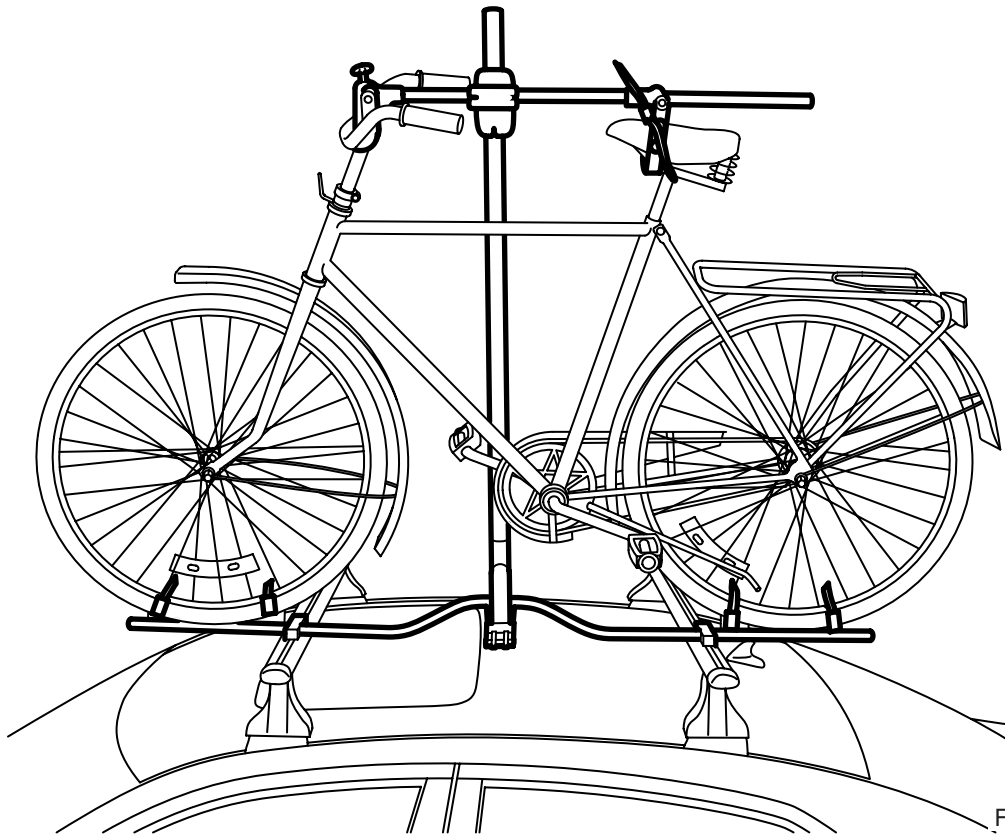


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS  
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

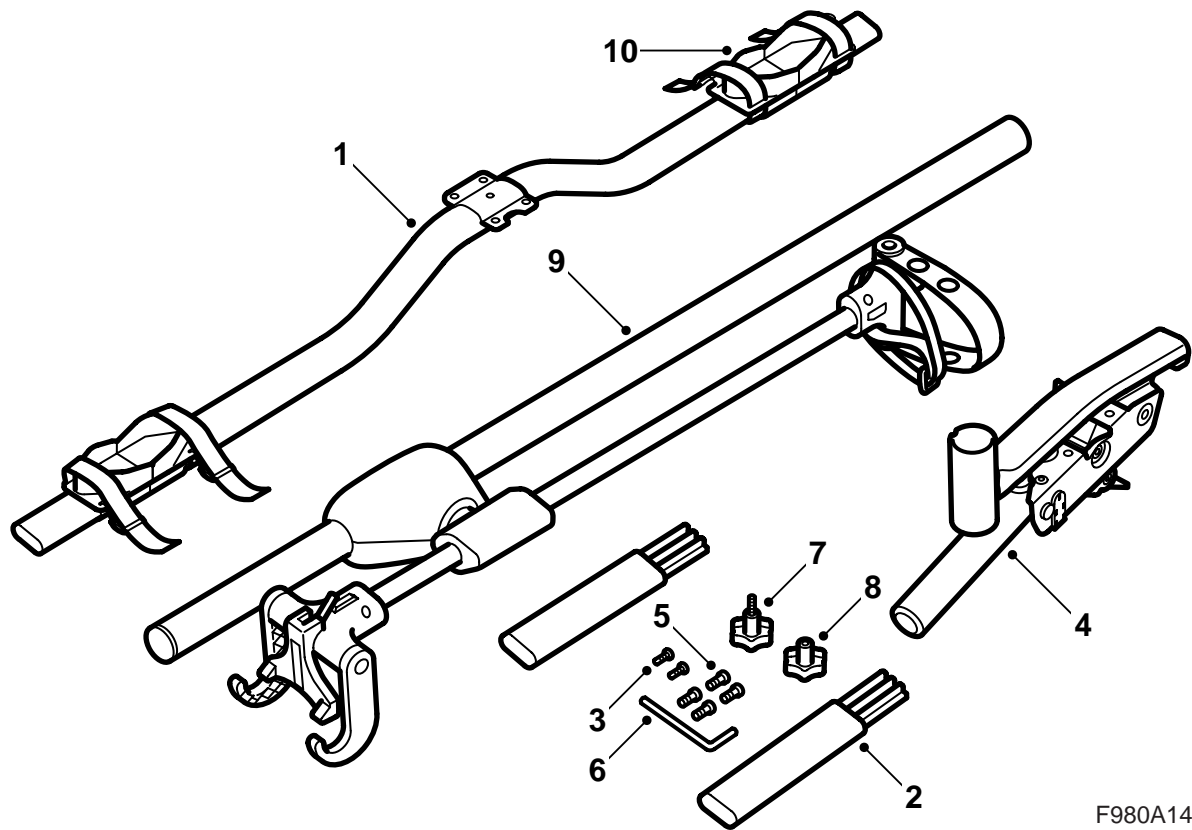
## Saab

サイクルキャリア（ルーフ積載型）

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 791 386 12 799 337 12 799 338 400 132 338	9:89-16	Apr 05	12 792 694 (55 20 861)	12 792 694 Apr 04



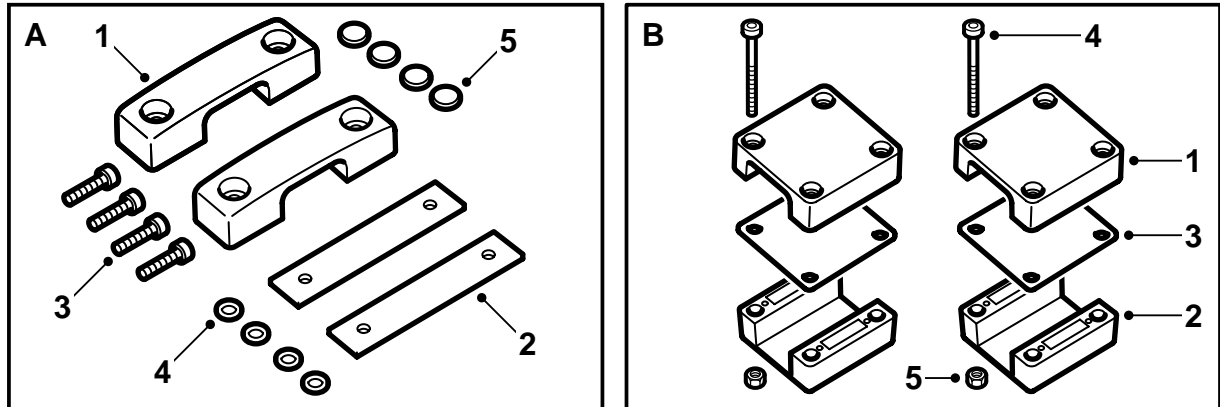
F980A144



F980A145

**サイクルキャリアキット**

- 1 レール
- 2 エクステンション (x2)
- 3 ネジ (x2)
- 4 レバー付きブラケット
- 5 ネジ (x4)
- 6 L形六角棒レンチ
- 7 ノブ
- 8 ノブ付きナット
- 9 支柱付きサイクルキャリア
- 10 ホイールホルダー (x4)



F980A146

**A. 取り付けキット (Tみぞ用)**

- 1 クランプ (x2)
- 2 ナットプレート (x2)
- 3 ネジ (x4)
- 4 ワッシャ (x4)
- 5 カバーキャップ (x4)

**B. 取り付けキット (角形材用)**

- 1 ブラケット、アッパーパーツ (x2)
- 2 ブラケット、アンダーパーツ (x2)
- 3 プレート (x2)
- 4 ボルト (x8)
- 5 ナット (x8)

## 重要事項



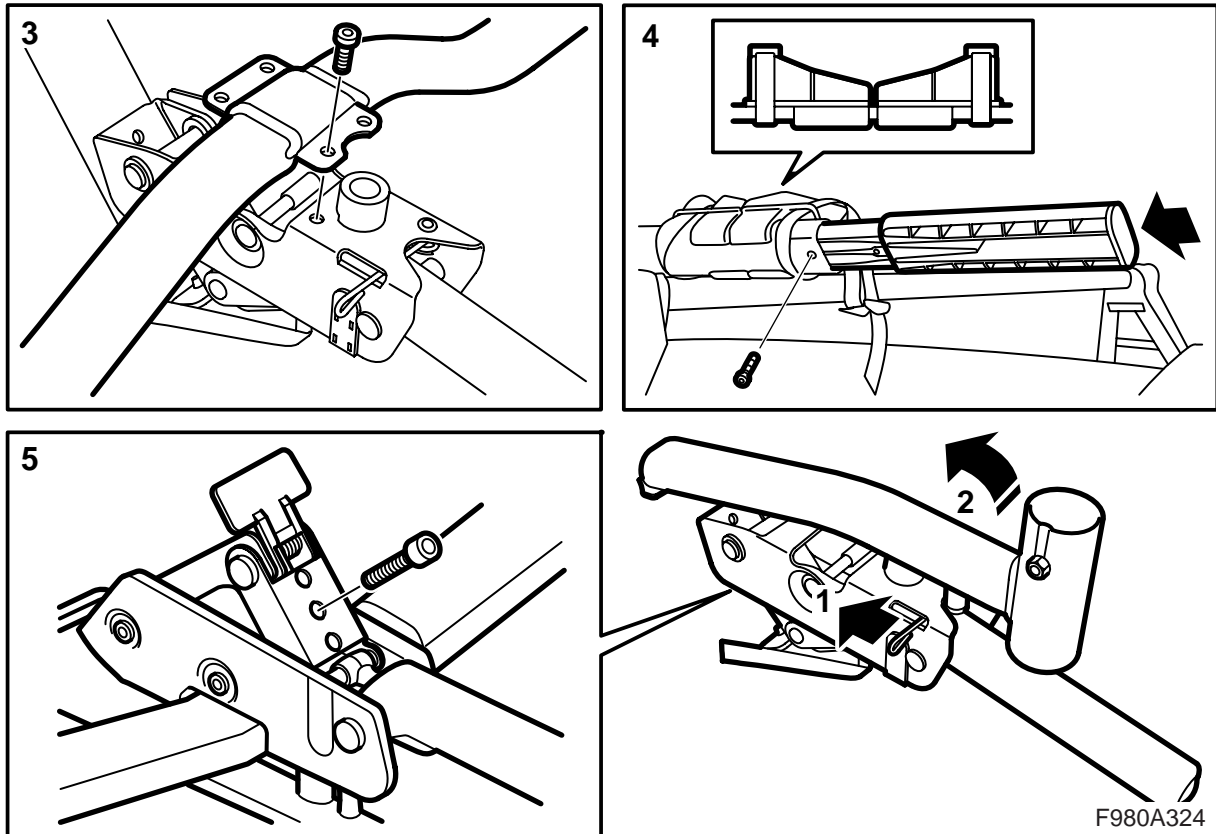
### 警告

サイクルキャリアを使用する前に、取り付け説明書を全て良く読んでおくこと。サイクルキャリアの取り付けはこの説明書に従ってのみ行い、またこの説明書は車内に常備しておくこと。

ルーフラックに荷物を載せて走行する際には、荷物の重量と形が車両の重点と空気動力を変えてしまうことがあるので、走行速度を調整すること。

車のルーフに配置する前に、自転車から脱落の恐れがあるパーツ（例えばチャイルドシートやサイクリングバッグなど）を予め取り外しておく。

- サイクルキャリアは、サイクルキャリアが正しい向きに配置され、正しく取り付けられているという前提において、安全な積載ができるように設計されている。従って、**製品の改造は行わないこと**。
- 最大許容積荷重量（ルーフラックを含む）：車両のオーナーズマニュアルおよびルーフラックに関する情報を参照のこと。  
サイクルキャリアの重量：6.8 kg。
- **ルーフレール装備車**：ルーフラック間の距離は700～780 mm でなければならない。
- 積荷の固定状態の確認を必ず行うこと。
- 自転車の積載に際しては、車両全高に特に留意すること。
- サイクルキャリアは、清掃および保守を行うこと。特に冬季には、付着した汚れや塩分をよく取り除いてきれいにする。また、ボルト、ナット、ロックには定期的に給脂する。
- サイクルキャリアは、未使用時には支柱と共にレバーから取り外し、車のラゲッジスペース内に配置する。
- 洗車機で洗車する前には、各ルーフラックを外すこと。
- 取り付け説明書は車内に常備しておくこと。



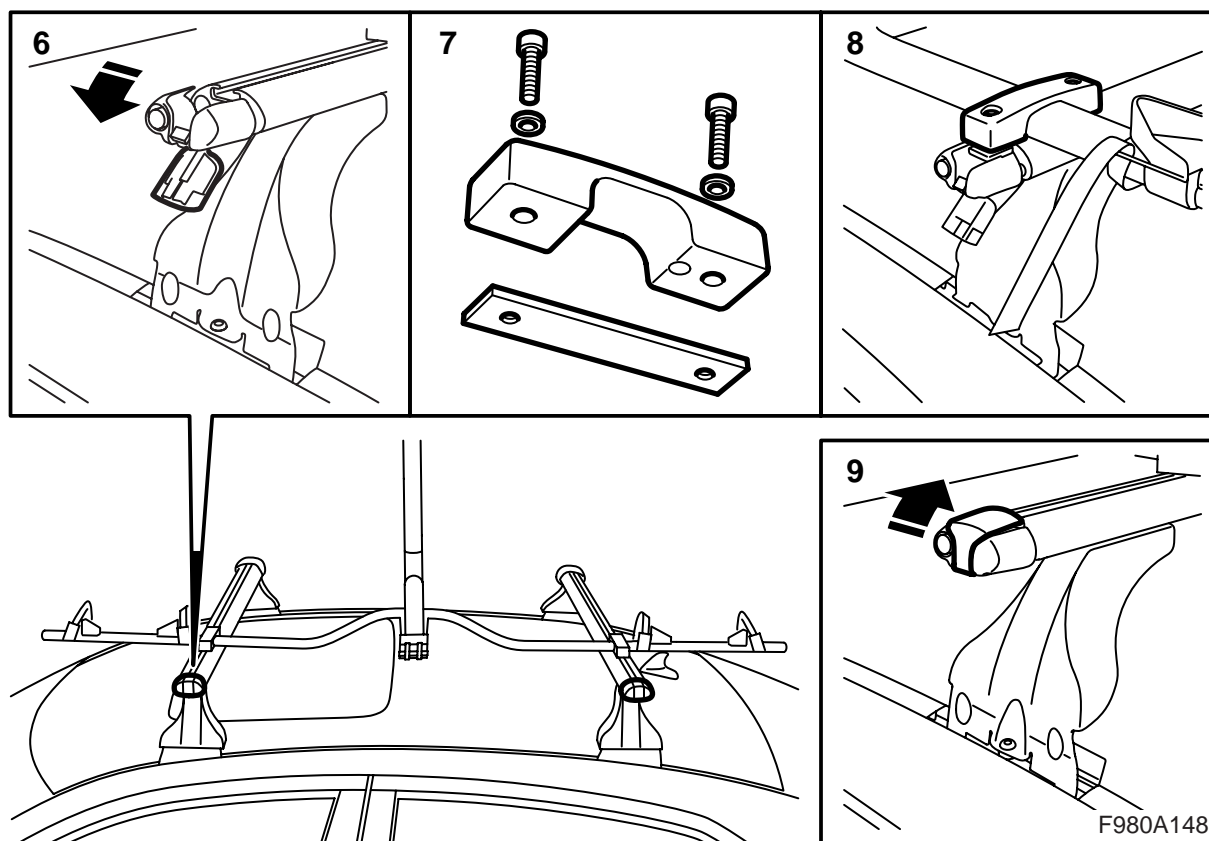
### Tみぞへの取り付け

- 1 赤いラッチを移動させてレバーをリリースする。
- 2 カチッという音をはっきり出るところまでレバーを外側へ展開する。
- 3 レバー付きブラケットをレールに取り付ける。

#### 締め付けトルク 10 Nm (7.4 lbf ft)

カチッという音をはっきり出るところまでレバーを戻す。

- 4 レール上のホイールホルダーを押してスライドさせ、エクステンションを取り付ける。エクステンションをネジどめする。
- 5 レールを反転し、しっかり支えながら輸送用ボルトを取り外す。



- 6 ルーフラックの各エンドプラグを引き出し、プラグのセンター部分を下方に折曲げる。

**ルーフレール装備車：** ルーフラック間の距離は 700 ~ 780 mm でなければならない。

- 7 ボルトとナットプレートでクランプを組み付けるが、各ボルトは数回転緩くねじ込むだけとし、レールエンドにクランプをセットする。
- 8 各ブラケットをルーフラックのみぞに挿入し、レールが正しい位置になったら（ルーフラックエンドプラグから約 10 mm）、各ボルトをしっかりと締め付ける。

**締め付けトルク 9 Nm (6.5 lbf ft)**

各カバーキャップを取り付ける。

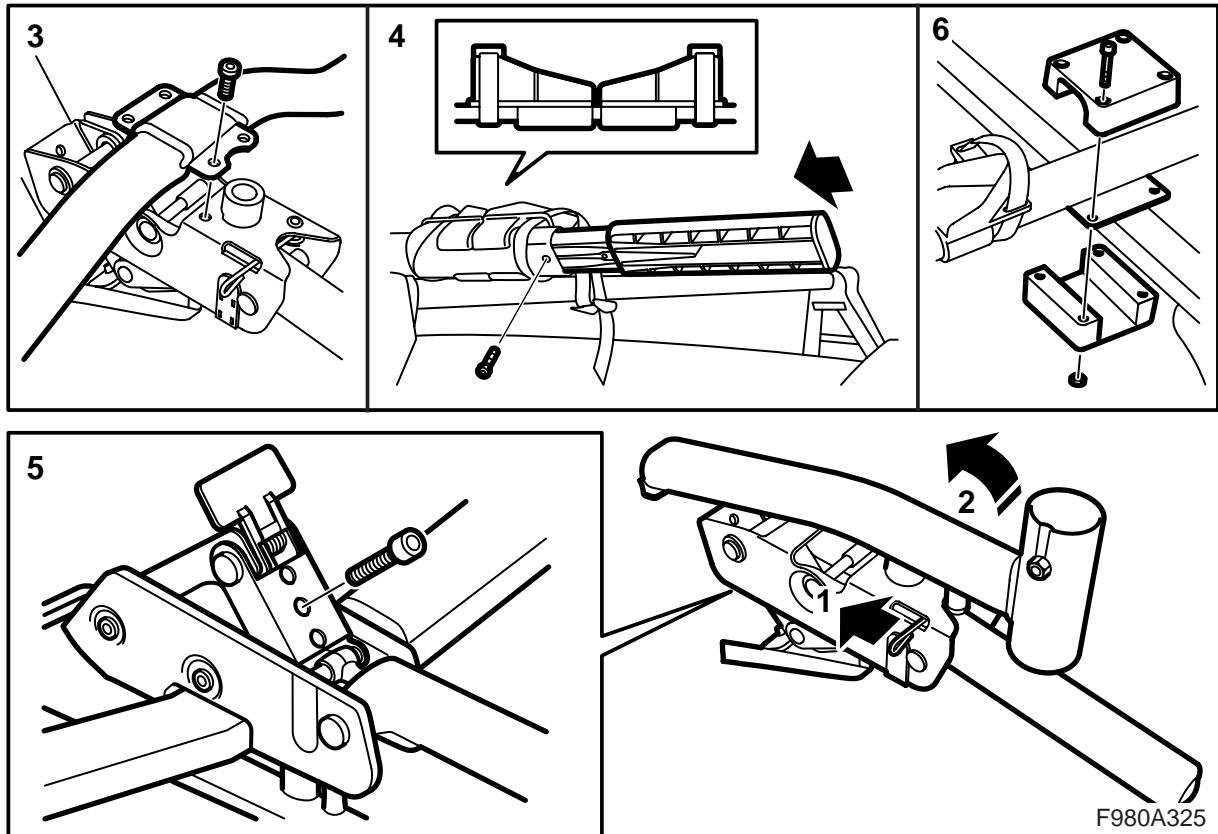


**警告**

各ブラケットは、レールのエクステンション部分ではなく、レール本体に取り付けなければならない。また、各ブラケットは、フロントエッジもリアエッジもレールエンドからの距離が同じになるように配置する。

各ブラケットのボルトは、両方のブラケットがそれぞれのナットプレートと平行になるように締め付けること。

- 9 ルーフラックの各エンドプラグのセンター部分を上方に曲げ戻し、各エンドプラグを押し込む。



### 角形材への取り付け

- 1 赤いラッチを移動させてレバーをリリースする。
- 2 カチッという音をはっきり出るところまでレバーを外側へ展開する。
- 3 レバー付きブラケットをレールに取り付ける。

#### 締め付けトルク 10 Nm (7.4 lbf ft)

カチッという音をはっきり出るところまでレバーを戻す。

- 4 レール上のホイールホルダーを押してスライドさせ、エクステンションを取り付ける。エクステンションをネジどめする。
- 5 レールを反転し、しっかり支えながら輸送用ボルトを取り外す。
- 6 レールを各ルーフラック上に配置し、ブラケット、プレート、ボルト、ナットで取り付ける。

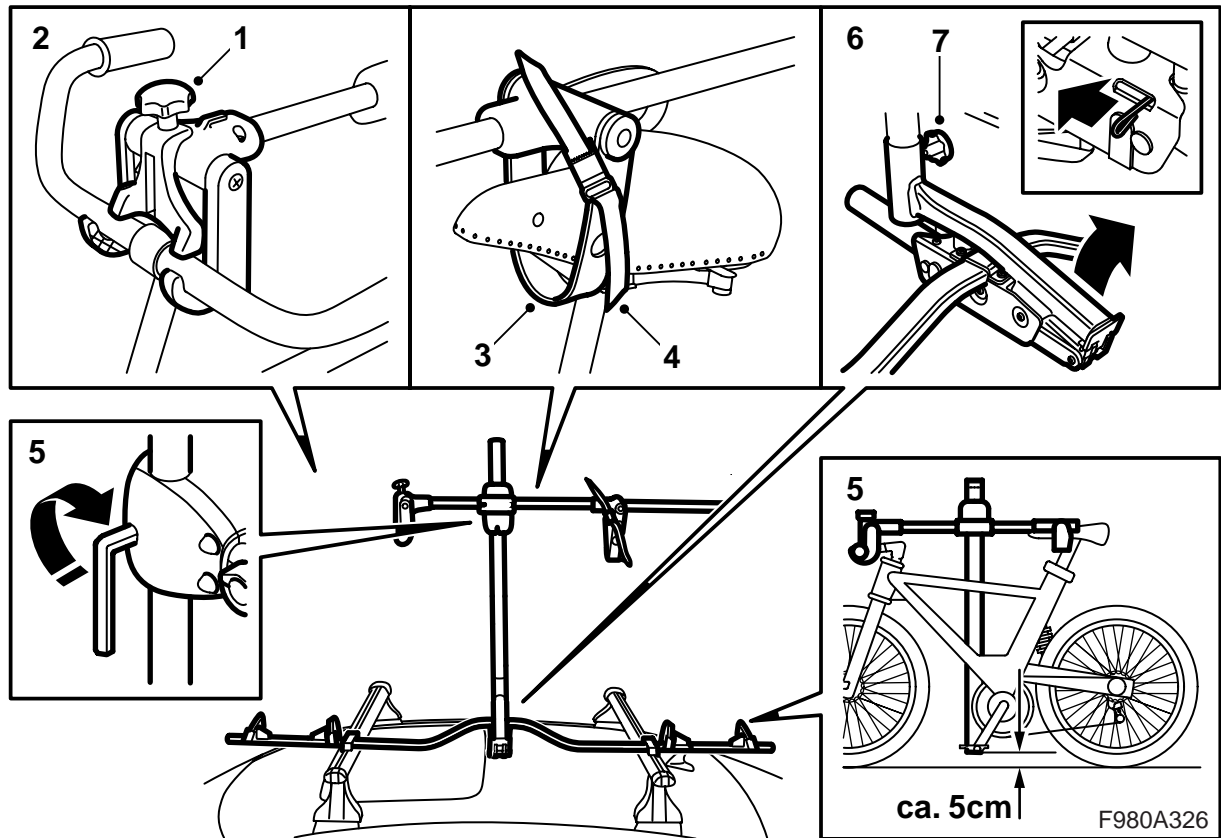
#### 締め付けトルク 9 Nm (6.5 lbf ft)

#### ⚠ 警告

各ブラケットは、レールのエクステンション部分ではなく、レール本体に取り付けなければならない。また、各ブラケットは、フロントエッジもリアエッジもレールエンドからの距離が同じになるように配置する。

各ブラケットのボルトは、ブラケットの半割り部分同士が平行になるように締め付けを行うこと。

**ルーフレール装備車**：ルーフラック間の距離は 700 ~ 780 mm でなければならない。



### 初めての場合の自転車の取り付け

- 1 サドルホルダーをサイクルキャリア支柱に向けてスライドさせる、ハンドルクランプのノブを緩めてハンドルクランプを上方へスライドさせる。
- 2 自転車のハンドルを引っかけて固定し、ハンドルクランプを押し下げ、ノブでクランプをしっかり締め付ける。

### 重要事項

自転車のブレーキワイヤーやケーブル類を損傷しないように慎重を期すこと。

- 3 サドルホルダーを後方にスライドさせ、U字ブラケットがサドルフロント部分にかかるようにする。

### 重要事項

サドルホルダーの U 字ブラケットはサドル形状にフィットするように調整が可能である。調整は、U 字ブラケットの取り付けボルトを取り外して U 字ブラケットを適切な位置まで移動させることで行う。調整が済んだら各ボルトを取り付ける。

- 4 サドル支柱にストラップを巻いて締める。
- 5 支柱を回転させて、垂直向きとなるようにし、リンク部の止めネジを緩める。支柱を上方または下方にスライドさせて支柱の下端と地面の間がおおよそ 50 mm となるようにする。リンク部の止めネジをしっかり締め付ける。

### 締め付けトルク 6 Nm (4.5 lbf ft)

サイクルキャリアを自転車から取り外す。

- 6 赤いラッチを移動させてレバーをリリースする。カチッという音をはっきり出るところまでレバーを外側へ展開する。
- 7 サイクルキャリア支柱をレバーの支柱ブラケットに取り付ける。



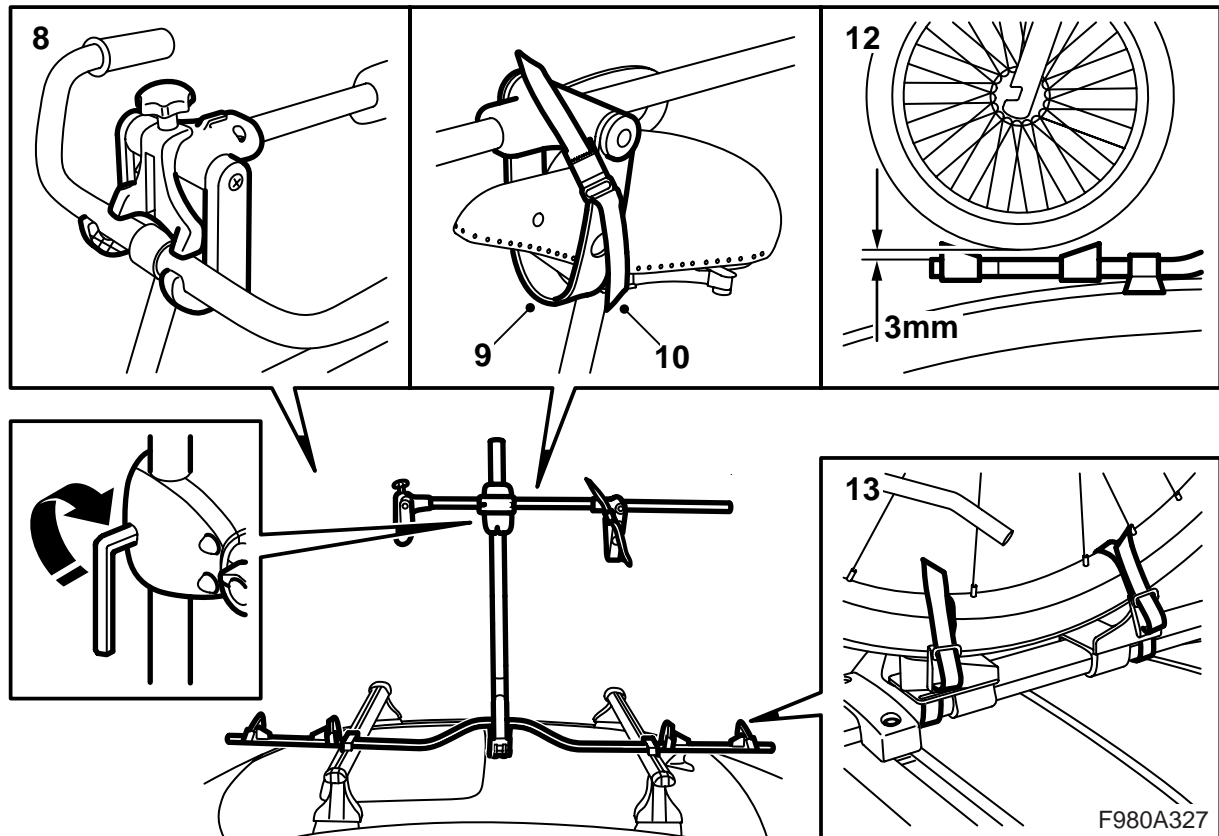
### 警告

支柱が支柱ブラケットの底まで届いていることを確認する。

ノブをしっかり締め付ける。

**締め付けトルク 5 Nm (4 lbf ft)**





- 8 自転車のハンドルを引っかけて固定し、ハンドルクランプを押し下げ、ノブでクランプをしっかり締め付ける。

### 重要事項

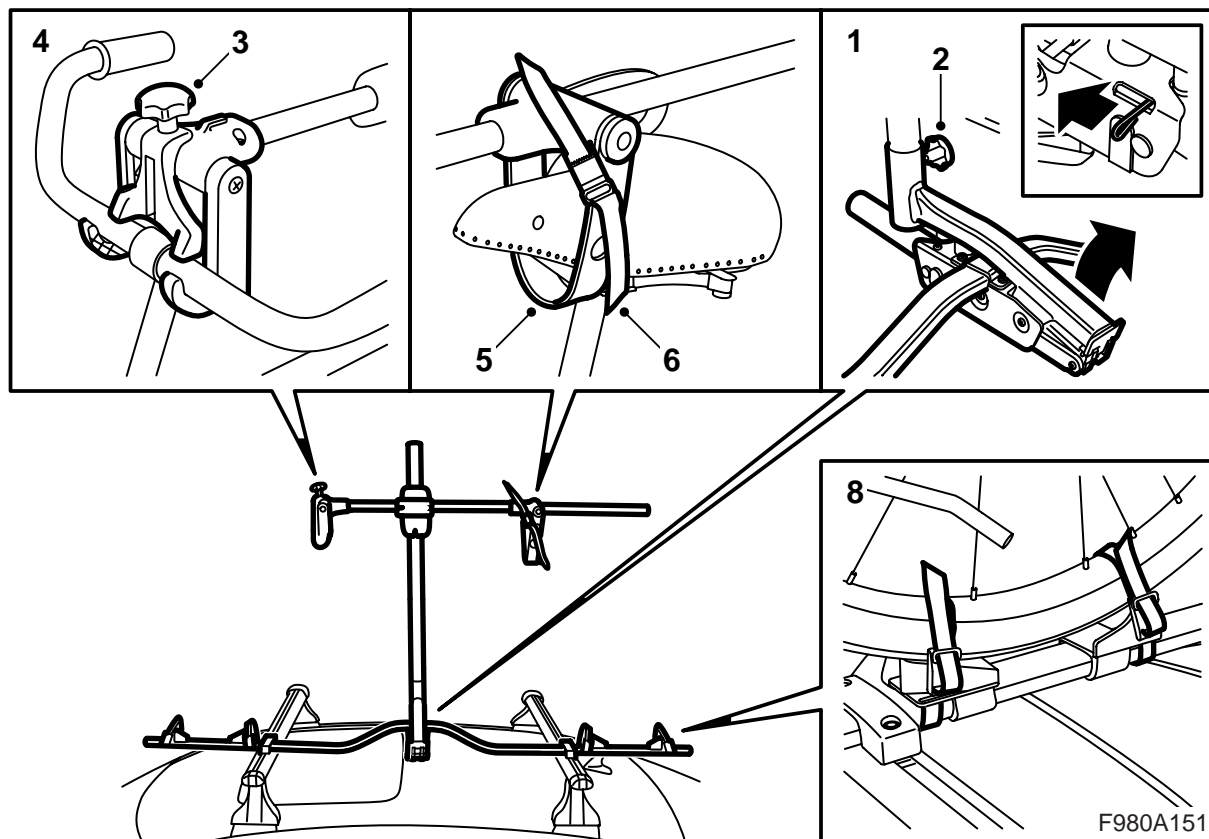
自転車のブレーキワイヤーやケーブル類を損傷しないように慎重を期すこと。

- 9 サドルホルダーを後方にスライドさせ、U字ブラケットがサドルフロント部分にかかるようにする。
- 10 サドル支柱にストラップを巻いて締める。
- 11 荷積み位置を超すところまで、ハンドルとサドルを持って自転車を慎重に持ち上げれば、リフト機構が自転車を車のルーフにリフトアップしてくれる。
- 12 自転車のタイヤの最下点とレールの間の距離が3 mm 以下であることを確認する。この距離がそれ以上となっている場合は、自転車を地上に下ろし、支柱をレバーから取り外して手順5の作業を繰り返す。
- 13 各ホイールホルダーをスライドさせて車輪に寄せ、各ストラップでしっかり締結する。



**警告**

自転車が確実にしっかり固定されていることを確認する。



### 自転車の取り付け

- 1 赤いラッチを移動させてレバーをリリースする。カチッという音をはっきり出るところまでサイクルキャリアを倒す。
- 2 **サイクルキャリアを取り外してあった場合：** サイクルキャリア支柱をレバーの支柱ブラケットに取り付ける。



#### 警告

支柱が支柱ブラケットの底まで届いていることを確認する。

ノブをしっかり締め付ける。

#### 締め付けトルク 5 Nm (4 lbf ft)

- 3 サドルホルダーをサイクルキャリア支柱に向けてスライドさせる、ハンドルクランプのノブを緩めてハンドルクランプを上方へスライドさせる。
- 4 自転車のハンドルを引っかけて固定し、ハンドルクランプを押し下げ、ノブでクランプをしっかり締め付ける。

### 重要事項

自転車のブレーキワイヤーやケーブル類を損傷しないように慎重を期すこと。

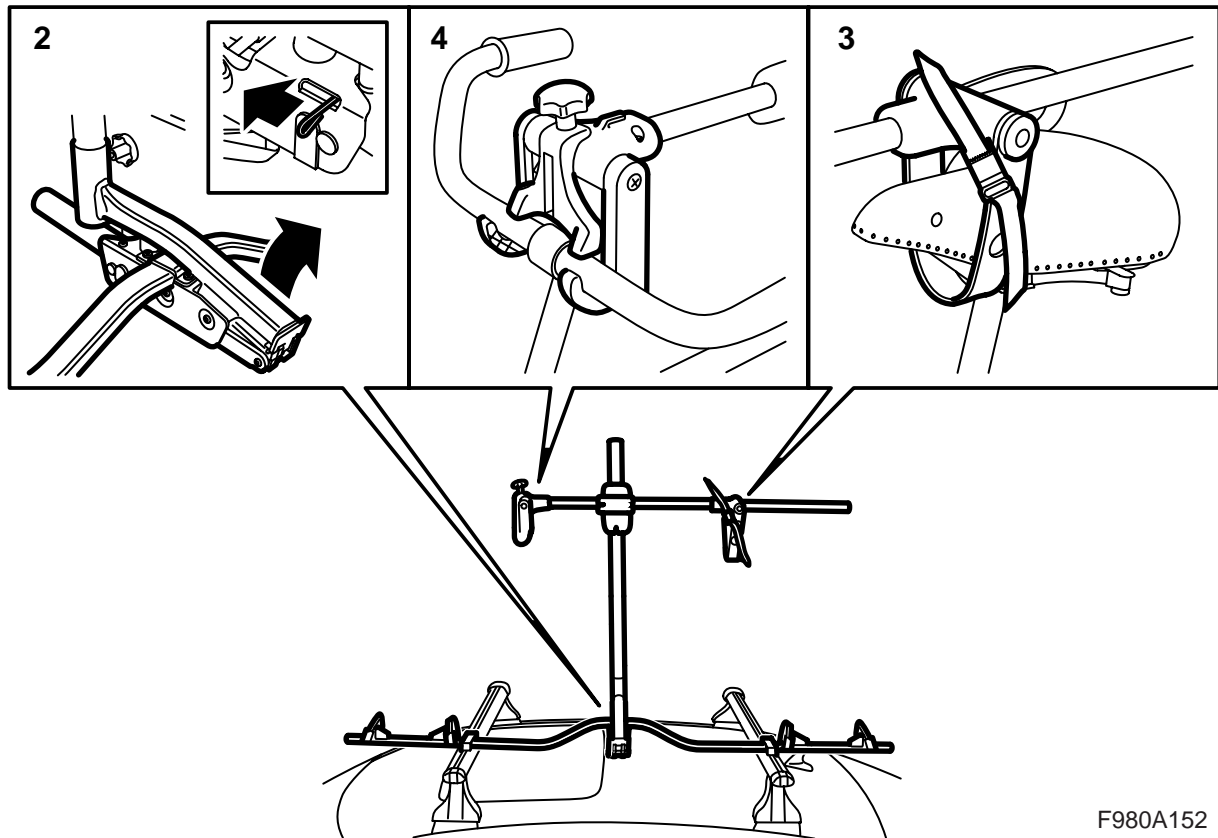
- 5 サドルホルダーを後方にスライドさせ、U字ブラケットがサドルフロント部分にかかるようにする。
- 6 サドル支柱にストラップを巻いて締める。

- 7 荷積み位置を超すところまで、ハンドルとサドルを持って自転車を慎重に持ち上げれば、リフト機構が自転車を車のルーフにリフトアップしてくれる。
- 8 各ホイールホルダーをスライドさせて車輪に寄せ、各ストラップでしっかり締結する。



#### 警告

自転車が確実にしっかり固定されていることを確認する。



F980A152

### 自転車の取り外し

- 1 各ストラップの戻り止めを開き、車輪をレールに保持しているストラップを取り外す。各ホイールホルダーをスライドさせて離す。
- 2 赤いラッチを移動させてレバーをリリースする。自転車をしっかり持って外側に引く。カチッという音をはっきり出るところまで自転車とサイクルキャリアを倒す。
- 3 ストラップの戻り止めを開き、サドル支柱に巻きかけてあったストラップを取り外す。
- 4 サドルホルダーをサイクルキャリア支柱に向けてスライドさせる、ハンドルクランプのノブを緩めてハンドルクランプを上方へスライドさせる。
- 5 サイクルキャリアから自転車を外す。

#### 警告

サイクルキャリアの支柱を、自転車が吊るされていない状態で起こす場合：自転車の重さに合わせてバネの弾力が調整されているため、支柱は強い力で起き上がる。ケガの危険があるので注意すること。

- 6 荷積み位置を超すところまで、サイクルキャリア支柱を慎重に持ち上げれば、リフト機構がサイクルキャリアを車のルーフにリフトアップしてくれる。

サイクルキャリアは、未使用時には支柱と共にレバーから取り外し、車のラゲッジスペース内に保管する。